

どう備える？ 突然の大災害！ 瞬時の判断から行動まで 公民館活動を通し

日常生活の中で学びます

【19年度公民館講座の日程と概要】予定

第1回 6月30日（日） 地震体験

沖縄市の研修センターに行きます、高齢者、幼児、小中学生を対象に40名で体験予定。

第2回 7月10日（水） 高齢者対象日中の災害想定

地域に家族を含め支援者が少ない時間帯。
緊急避難場所への移動も大丈夫だろうか？

第3回 7月24日（水） 幼児～小・中校生対象

夜間の時間帯での活動中の災害発生想定
保護者は在宅？夕食準備？公民館に大人は？

第4回 7月30日（火） 幼児～小・中校生対象

夕方の時間帯での活動中の災害発生想定
保護者は帰宅途中？地域に居るのは高齢者が主？

第5回 8月18日（日） 里浜活動中の人たち

日中、海辺で活動中の災害発生を想定
災害情報の把握？その伝達は？避難方法や場所は？

※日程、内容とも変更の可能性もあります。

※自由参加。今回は日常の公民館活動の中で行います。従って、主な参加者は限られますが、講座を通じた課題と学習の成果は今後の安心、安全に反映していきたい。

専門の防災士招いて講座 世代の役割検証めざす

講師には各地で防災講座を行って
いる稲垣 暁先生（防災士・福祉士）
5年前に地域独自で行った「避難訓
練」時のコーディネーターでもあり、
港川の地域事情にも詳しい方です。
自身も「阪神淡路大震災」の被災経
験者でもあり、災害の発生時から避

難生活の課題まで実体験に基づく多
くの有益なアドバイスが得られると
思います。

自治会も今後の防災活動をどう取
り組むか、未だ手探り状態にありま
す。とりわけ、地域内での「災害弱
者」の確認や安心安全へのネットワ
ークづくりも急務。発生前の備え方
から発生時の瞬時の判断力、発生後
に必要な行動など、日常生活の中で

自由研究のまとめ方学ぶ ～OneサンゴPJ～ 夏休みの学習課題念頭に



考えておくべき課題は数多くありま
す。それぞれの段階で「まず何を考
え行動するか」みんなで学び、いざ
というときに備えましょう！



4月から始まった第2回「One
サンゴPJ」、6月は銘苅健さん（元
港小校長）による自由研究のまとめ
方学習。風船など使いながら「な
ぜ？」「考えよう」「やってみよう」
など学びとまとめ方を指導。子ども
たちも一生懸命に聞き入り、熱心に

メモをしていました（右写真 9日）

沖縄電力も学習協力

16日は沖縄広報、環境部門のス
タッフが公民館「エネルギー」につ
いて分かり易く指導。数多くの実験
装置を公民館に持ち込み「電力」の
仕組みなどについて説明、子どもた
ちも体験参加しながら、歓声あふれ
る学習でした（左2枚組写真）

沖縄戦体験者訪ねる

港小6年生平和学習

27・28日両日実施します。今
年は新たに銘苅竹子さん（3班）と
宮城千代さん（7班）が語ります。

ゆぐいだきるときき閑話

西海岸道路の開通、大型店オーブ
ン、マンションやホテル建設計画が
続き、市道「牧港線」への交通量増
加が心配されている。だが、牧港線
整備に向ける浦添市の対応は、全く
無策状態。沖縄電入口前及び拓琉前2
つの交差点で土地取得が出来ず、整
備が出来ない。地域にはその理由も
明らかにされていない。その一方、
確実に増加する交通量に対しては両
交差点で暫定的に「右折車線を増や
せないか検討中」という。本格的な
整備見通しは「示せない」というの
になぜ「暫定的」といえるのか？道
路下には初代区長（銘苅太郎）の遺
骨が今も埋まったまま。戦後75年、
復帰後47年、浦添市が言う「暫定」
期間は何年？何十年？忘れないで！
戦前の区長任命者は行政なのだ！